

エコアクション21

環境経営レポート

令和5年度版

(令和5年8月～令和6年7月)



令和6年9月30日

中山リサイクル産業株式会社

目次

1.	組織の概要	・ ・ ・ 1
2.	対象範囲	・ ・ ・ 4
3.	環境経営方針	・ ・ ・ 5
4.	環境経営目標	・ ・ ・ 6
5.	環境経営目標の実績	・ ・ ・ 10
6.	過去3年間の主要環境負荷量の推移	・ ・ ・ 16
7.	環境活動計画及びその取組結果と評価 次年度の取組内容	・ ・ ・ 18
8.	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	・ ・ ・ 22
9.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	・ ・ ・ 23
10.	代表者による全体評価と見直しの結果	・ ・ ・ 23
11.	その他環境への取組	・ ・ ・ 24

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者

中山リサイクル産業株式会社
代表取締役社長 中山 智

(2) 所在地

本社工場 福岡県糟屋郡須恵町大字植木81-5
大分工場 大分県大分市大字日吉原1-33
佐賀工場 佐賀県嬉野市塩田町大字久間字後山乙2265
箱崎工場 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4-13-1
GP本匠 大分県佐伯市本匠大字堂ノ間933-1
GP杵築 大分県杵築市山香町大字久木野尾2002-26
GP津奈木 熊本県葦北郡津奈木町大字小津奈木2114番地の内
うきは工場 福岡県うきは市吉井町鷹取1093-12
※GP=グリーンパークの略



(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 堀 文弘 tel:092-936-4848 Email: hori-fumihiro@nakayama-r-r.com
EA21事務局 市山 隆 tel:092-936-4848 Email: ichiyama-ryu@nakayama-r-r.com

(4) 事業内容

産業廃棄物処分業(木くず 破碎) …本社工場、大分工場、箱崎工場、GP杵築、うきは工場
産業廃棄物収集運搬業(木くず) …本社工場、大分工場、箱崎工場、GP杵築、うきは工場
間伐材等未利用森林資源からチップ製造・販売…大分工場、佐賀工場、GP本匠、GP杵築、GP津奈木、うきは工場
一般廃棄物処分業(木くず 破碎) …大分工場、箱崎工場、GP杵築

(5) 事業規模(令和5年度:令和5年8月1日から令和6年7月31日)

	単位	全社	本社工場	大分工場	佐賀工場	箱崎工場	G P 本匠	G P 杵築	G P 津奈木	うきは工場
産業廃棄物収集運搬量	m ³	12,061	8,097	565	-	2,011	-	147	-	1,241
①産業廃棄物処理量	m ³	252,199	67,454	31,909	-	64,195	-	43,848	-	44,793
②一般廃棄物処理量	m ³	28,984	3,622	3,727	-	15,316	-	1,011	-	5,308
③産業廃棄物を原料としない生産量	m ³	183,153	94	7,615	14,766	-	19,329	77,306	34,448	29,595
木質チップ生産量(※)	m ³	464,336	71,170	43,251	14,766	79,511	19,329	122,165	34,448	79,696
売 上 高	千円	3,576,525	715,269	319,096	94,012	567,249	125,976	874,820	257,458	622,645
敷 地 面 積	m ²	80,367	15,634	9,810	6,942	4,327	6,832	14,217	6,930	15,675
従 業 員	人	68	19	8	3	13	2	12	2	9

※木質チップ生産量=①+②+③

(6) 法人設立年月日及び事業年度

平成元年9月18日
事業年度:8月～翌年7月

(7) 資本金

2,000万円

(8) 許可範囲

①許可期限等

許可の種類	許可の範囲	許可番号	取得年月日	有効期限
産業廃棄物処分業	福岡県	04020024573	平成7年5月9日	令和14年4月24日
	福岡市	07720024573	平成21年2月9日	令和11年2月8日
	大分県	04422024573	平成20年7月16日	令和10年7月15日
	大分市	08820024573	平成21年1月21日	令和11年1月20日
	佐賀県	04123024573	平成21年6月26日	令和11年6月25日
産業廃棄物収集運搬業	福岡県	04000024573	平成22年12月28日	令和7年12月27日
	大分県	04402024573	平成19年11月12日	令和9年11月11日
	佐賀県	04103024573	平成19年12月28日	令和9年12月27日
	長崎県	04200024573	平成19年10月24日	令和9年10月23日
	熊本県	04305024573	平成19年10月26日	令和9年10月25日
	山口県	03500024573	平成24年10月10日	令和9年10月9日
一般廃棄物処分業	福岡市	福岡市指令第105	平成30年8月30日	令和8年8月29日
	大分市	大分市指令第1996	平成29年8月12日	令和7年8月11日
	杵築市	生環指令第414	平成29年4月1日	令和9年3月31日
一般廃棄物処理施設設置許可	福岡県	第491	平成21年8月21日	－

②産業廃棄物収集運搬許可品目一覧

	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉄さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	動物のふん尿	動物の死体	産業廃棄物を処分するために処理したもの
福岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
大分県						○	○	○	○	○	○		○	○	○					
佐賀県						○	○	○	○	○	○		○	○	○					
長崎県						○	○	○	○	○	○		○	○	○					
熊本県						○	○	○	○	○	○		○	○	○					
山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

(9) 施設等の状況

①産業廃棄物処分業

処理施設の種類	種類	処理能力	設置・保管場所
破碎施設(固定式)	木くず	76. 7t／日(8時間)	福岡県糟屋郡須恵町大字植木81-5
破碎施設(固定式)	木くず	202. 05t／日(10時間)	大分県大分市大字日吉原1-33
破碎施設(固定式)	廃プラスチック繊維くず	4. 0t／日(8時間)	大分県大分市大字日吉原1-33
破碎施設(移動式兼固定式)	木くず	244. 32t／日(8時間)	大分県大分市大字日吉原1-33
破碎施設(移動式)	木くず	244t／日(8時間)	大分県佐伯市本匠大字堂ノ間字カイノキ933-1
破碎施設(移動式)	木くず	777t／日(8時間)	福岡県糟屋郡須恵町大字植木字大谷81-5
破碎施設(移動式)	木くず	777t／日(8時間)	福岡県うきは市浮羽町三春字菖蒲池1277
破碎施設(固定式)	木くず	4. 07t／日(8時間)	佐賀県嬉野市塩田町大字久間2265
破碎・分級施設(固定式)	木くず	202. 05t／日(10時間)	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4-13-1
破碎施設(固定式)	木くず	208. 02t／日(10時間)	大分県杵築市山香町大字久木野尾字東カヤノ原2002-26
破碎施設(固定式)	木くず	374. 5t／日(10時間)	大分県杵築市山香町大字久木野尾字東カヤノ原2002-26
破碎施設(固定式)	木くず	502t／日(10時間)	福岡県うきは市吉井町鷹取字二ノ上947番8外2筆
破碎施設(固定式)	木くず	235t／日(10時間)	福岡県うきは市吉井町鷹取字二ノ上947番8外2筆

②一般廃棄物処分業

処理施設の種類	種類	処理能力	設置場所
破砕施設(固定式)	木くず	40. 41t／日(2時間)	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4-13-1
破砕施設(固定式)	木くず・草	202. 05t／日(10時間)	大分県大分市大字日吉原1-33
破砕施設(固定式)	木くず	208. 02t／日(10時間)	大分県杵築市山香町大字久木野尾字東カヤノ原2002-26
破砕施設(固定式)	木くず	374. 5t／日(10時間)	大分県杵築市山香町大字久木野尾字東カヤノ原2002-26

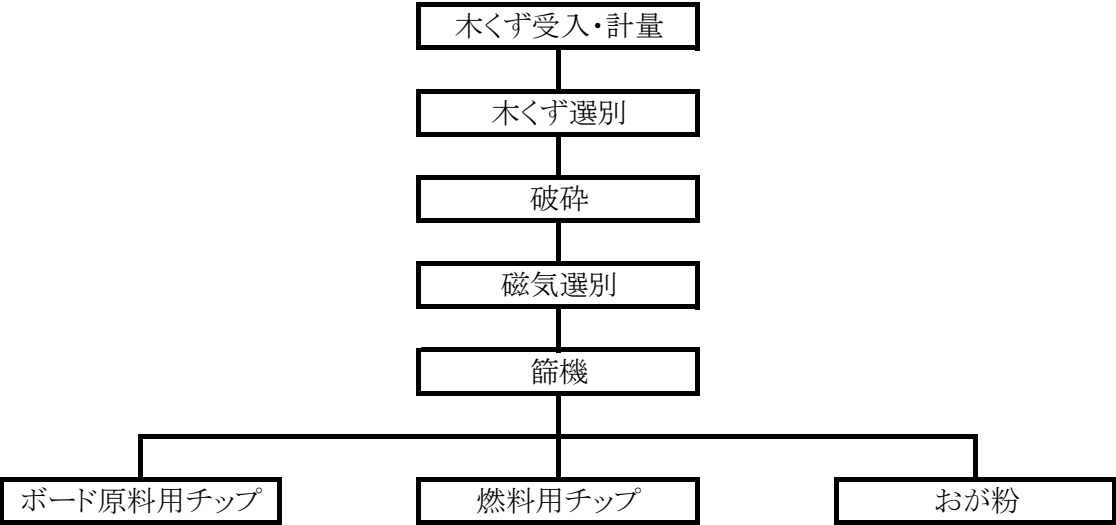
③一般廃棄物処理施設

処理施設の種類	種類	処理能力	設置場所
破砕施設(固定式)	木くず	76. 792t／日(8時間)	福岡県糟屋郡須恵町大字植木81-5

④間伐材等チップ製造施設

施設の種類	設置場所
破砕設備	福岡県糟屋郡須恵町大字植木81-5
破砕設備	福岡県うきは市吉井町鷹取字二ノ上947番8外2筆
チップパー設備	福岡県うきは市吉井町鷹取字二ノ上947番8外2筆
チップパー設備	佐賀県嬉野市塩田町大字久間2265
破砕設備	大分県佐伯市本匠大字堂ノ間933-1
チップパー設備	大分県佐伯市本匠大字堂ノ間933-1
破砕設備	大分県杵築市山香町久木野尾字東カヤノ原2002-26
チップパー設備	大分県杵築市山香町久木野尾字東カヤノ原2002-26
チップパー設備	熊本県葦北郡津奈木町大字小津奈木2114番地の内

⑤木くず・間伐材処理工程図



⑥産業廃棄物収集運搬車両

車種	台数
25t平ボディ	1
25t深ボディ	3
4tダンプ車	2
脱着装置付コンテナ専用車(10t)	3

⑦工場内作業用重機

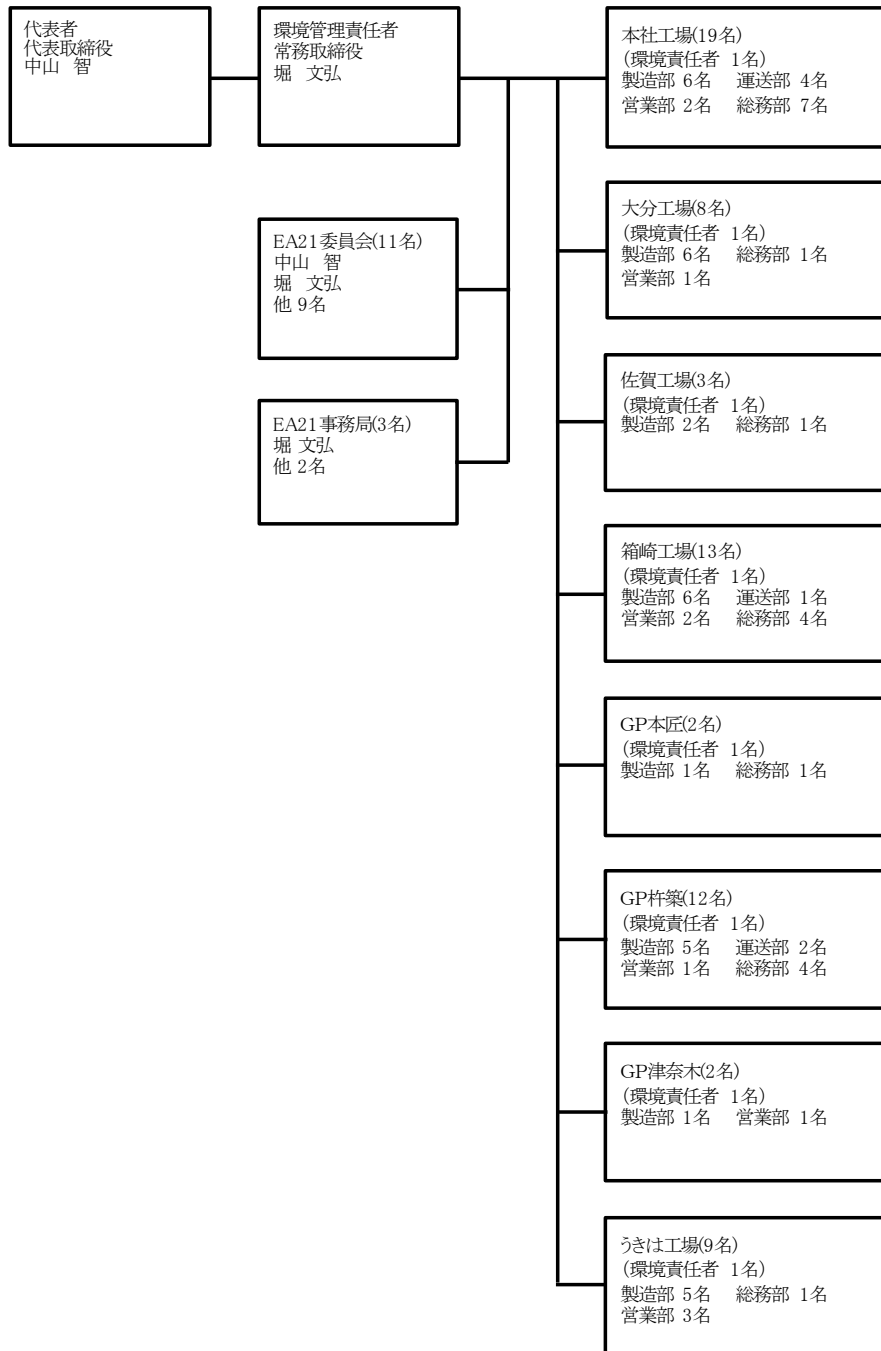
車種	本社工場	大分工場	佐賀工場	箱崎工場	GP本匠	GP杵築	GP津奈木	うきは工場
パワーショベル0.1	1	1		1				
パワーショベル0.25						1		
パワーショベル0.45	1	1		3	1	3	1	2
パワーショベル0.7	3	2	2			1	1	
タイヤショベルハイリフト使用	2	1		1	1	1		2
リーチローダー						2		
リフト2. 5t	1				1	1	1	
リフト3. 5t		1	1	1				1
リフト4. 5t		1						
リフト5t	1							

(10) 廃棄物処理料金

個別見積もりによる。

2. 対象範囲

(1) 環境管理組織図



(2) 認証・登録範囲

① 対象事業所

本社工場、大分工場、佐賀工場、箱崎工場、グリーンパーク本匠、グリーンパーク杵築
グリーンパーク津奈木、うきは工場

② 対象事業活動

- ・一般廃棄物・産業廃棄物中間処理業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・間伐材等からの木材チップ製造・販売

3.環境経営方針

中山リサイクル産業株式会社は、産業廃棄物及び間伐材のリサイクルを行っている会社です。美しい自然・美しい未来のために環境負荷の最小化を目指し、環境経営の継続的改善に努めます。そのために、次のことに配慮して行動します。

また、環境経営レポートは、一般に入手できるように公開します。

経営理念

故郷、地球から戴いた資源を地球に帰す。それが私達の使命です。

環境行動方針

- (1) 産業廃棄物の木くず及び間伐材リサイクルを促進させ、サステナブルな社会づくりに貢献します。
- (2) 全従業員にサステナブルな社会の大切さを教育し、環境方針を周知徹底します。
- (3) 節電、エコドライブを徹底し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- (4) 自社で生じる廃棄物の発生抑制、排出削減に努めます。
- (5) 水の使用量の削減に努めます。
- (6) グリーン購入を促進します。
- (7) 関係する環境関連法規を遵守します。

制定日：平成24年8月18日

改定日：令和4年8月1日

中山リサイクル産業株式会社

代表取締役社長 中山 智

4. 環境経営目標

- 当社の事業活動を踏まえて、サイト工場別の中長期環境経営目標を以下の通り設定しました。

本社工場

(年度:8月～翌年7月)

環境経営目標 項目	単位	基準年度実績	中期目標		
		令和2年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	9.91	9.71 (2%削減)	9.61 (3%削減)	9.51 (4%削減)
廃棄物排出量の削減	kg	531	499 (6%削減)	483 (9%削減)	467 (12%削減)
グリーン購入促進	品目	15	15	15	15
教育の実施	回	2	2	2	2
清掃活動・除草活動の実施	回	14	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)

備考

- CO₂排出量の目標値は、年間処理量(生産量)で除した原単位(kg-CO₂/m³)で示しています。
- CO₂排出量の算定に用いた購入電力のCO₂排出係数は、令和元年度 九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。
- 処理量当たりのCO₂排出量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に再設定しています。
- 水使用量について、雨水利用が大部分を占め、トイレ・手洗利用は井戸水を使用し少量で水量不明なため、目標設定していません。
- 化学物質は事業活動での使用実績がないため、目標から除外しています。

大分工場

(年度:8月～翌年7月)

環境経営目標 項目	単位	基準年度実績	中期目標		
		令和2年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	6.67	6.54 (2%削減)	6.47 (3%削減)	6.40 (4%削減)
廃棄物排出量の削減	kg	165	155 (6%削減)	150 (9%削減)	145 (12%削減)
水使用量の削減	m ³	1,756	1,721 (2%削減)	1,703 (3%削減)	1,686 (4%削減)
グリーン購入促進	品目	15	15	15	15
教育の実施	回	2	2	2	2
未利用森林資源の取扱量の増加	t	4,800 (※令和3年度基準値)	5,040 (5%増加)	5,280 (10%増加)	5,520 (15%増加)
清掃活動・除草活動の実施	回	14	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)

備考

- CO₂排出量の目標値は、年間処理量(生産量)で除した原単位(kg-CO₂/m³)で示しています。
- CO₂排出量の算定に用いた購入電力のCO₂排出係数は、令和元年度 九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。
- 処理量当たりのCO₂排出量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に再設定しています。
- 水使用量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減をも目標に再設定しています。
- 未利用森林資源の取扱量の目標値は、令和3年度の実績を基準にし、毎年5%増加を目標に設定しています。
- 化学物質は事業活動での使用実績がないため、目標から除外しています。

佐賀工場

(年度:8月～翌年7月)

環境経営目標 項目	単位	基準年度実績 令和2年度	中期目標		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	4.56	4.47 (2%削減)	4.42 (3%削減)	4.38 (4%削減)
廃棄物排出量の抑制	kg	45	45.0 (定量目標)	45.0 (定量目標)	45.0 (定量目標)
水使用量の削減	m ³	103	101 (2%削減)	100 (3%削減)	99 (4%削減)
グリーン購入促進	品目	15	15	15	15
教育の実施	回	2	2	2	2
未利用森林資源の取扱量の増加	t	562	—	—	—
清掃活動・除草活動の実施	回	14	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)

備考

- CO₂排出量の目標値は、年間処理量(生産量)で除した原単位(kg-CO₂/m³)で示しています。
- CO₂排出量の算定に用いた購入電力のCO₂排出係数は、令和元年度 九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。
- 処理量当たりのCO₂排出量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に再設定しています。
- 水使用量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減をも目標に再設定しています。
- 未利用森林資源の取扱量は、実績はあるが、地域性により安定的な数量の確保ができないため目標設定していません。
- 化学物質は事業活動での使用実績がないため、目標から除外しています。

箱崎工場

(年度:8月～翌年7月)

環境経営目標 項目	単位	基準年度実績 令和2年度	中期目標		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	5.53	5.42 (2%削減)	5.36 (3%削減)	5.31 (4%削減)
廃棄物排出量の削減	kg	523	492 (6%削減)	476 (9%削減)	460 (12%削減)
水使用量の削減	m ³	5,429	5,320 (2%削減)	5,266 (3%削減)	5,212 (4%削減)
グリーン購入促進	品目	15	15	15	15
教育の実施	回	2	2	2	2
清掃活動・除草活動の実施	回	14	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)

備考

- CO₂排出量の目標値は、年間処理量(生産量)で除した原単位(kg-CO₂/m³)で示しています。
- CO₂排出量の算定に用いた購入電力のCO₂排出係数は、令和元年度 九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。
- 処理量当たりのCO₂排出量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に再設定しています。
- 水使用量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減をも目標に再設定しています。
- 化学物質は事業活動での使用実績がないため、目標から除外しています。

GP本匠

(年度:8月～翌年7月)

環境経営目標 項目	単位	基準年度実績 令和2年度	中期目標		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	3.59	3.52 (2%削減)	3.48 (3%削減)	3.45 (4%削減)
廃棄物排出量の抑制	kg	16.5	16.5 (定量目標)	16.5 (定量目標)	16.5 (定量目標)
水使用量の抑制	m ³	48.0 (※令和3年度基準値)	48.0 (定量目標)	48.0 (定量目標)	48.0 (定量目標)
グリーン購入促進	品目	15	15	15	15
教育の実施	回	2	2	2	2
未利用森林資源の取扱量の増加	t	10,988 (※令和元年度基準値)	12,636 (15%増加)	13,186 (20%増加)	13,735 (25%増加)
清掃活動・除草活動の実施	回	14	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)

備考

- ・ CO₂排出量の目標値は、年間処理量(生産量)で除した原単位(kg-CO₂/m³)で示しています。
- ・ CO₂排出量の算定に用いた購入電力のCO₂排出係数は、令和元年度 九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。
- ・ 処理量当たりのCO₂排出量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に再設定しています。
- ・ 水使用量の目標は、令和3年度の実績を基準とし、定量目標に再設定しています。
- ・ 未利用森林資源の取扱量の増加は、令和元年度の実績を基準とし、毎年5%増加の目標に再設定しています。
- ・ 化学物質は事業活動での使用実績がないため、目標から除外しています。

GP杵築

(年度:8月～翌年7月)

環境経営目標 項目	単位	基準年度実績 令和2年度	中期目標		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	6.73	6.60 (2%削減)	6.53 (3%削減)	6.46 (4%削減)
廃棄物排出量の削減	kg	87	82 (6%削減)	79 (9%削減)	77 (12%削減)
水使用量の削減	m ³	1,002	982 (2%削減)	972 (3%削減)	962 (4%削減)
グリーン購入促進	品目	15	15	15	15
教育の実施	回	2	2	2	2
未利用森林資源の取扱量の増加	t	15,993 (※令和元年度基準値)	18,392 (15%増加)	19,192 (20%増加)	19,991 (25%増加)
清掃活動・除草活動の実施	回	14	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)

備考

- ・ CO₂排出量の目標値は、年間処理量(生産量)で除した原単位(kg-CO₂/m³)で示しています。
- ・ CO₂排出量の算定に用いた購入電力のCO₂排出係数は、令和元年度 九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。
- ・ 処理量当たりのCO₂排出量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に再設定しています。
- ・ 水使用量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減をも目標に再設定しています。
- ・ 未利用森林資源の取扱量の増加は、令和元年度を基準とし、毎年5%増加を目標に再設定しています。
- ・ 化学物質は事業活動での使用実績がないため、目標から除外しています。

GP津奈木

(年度:8月～翌年7月)

環境経営目標 項目	単位	基準年度実績 令和2年度	中期目標		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ / m ³	3.98	3.90 (2%削減)	3.86 (3%削減)	3.82 (4%削減)
廃棄物排出量の抑制	kg	29.2 (※令和元年度基準値)	29.2 (定量目標)	29.2 (定量目標)	29.2 (定量目標)
水使用量の抑制	m ³	221 (※令和3年度基準値)	219 (1%削減)	217 (2%削減)	214 (3%削減)
グリーン購入促進	品目	15	15	15	15
教育の実施	回	2	2	2	2
未利用森林資源の取扱量の増加	t	13,245 (※令和元年度基準値)	15,232 (15%増加)	15,894 (20%増加)	16,556 (25%増加)
清掃活動・除草活動の実施	回	14	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)	14 (清掃1回/月 除草2回/年)

備考

- CO₂排出量の目標値は、年間処理量(生産量)で除した原単位(kg-CO₂/ m³)で示しています。
- CO₂排出量の算定に用いた購入電力のCO₂排出係数は、令和元年度 九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。
- 処理量当たりのCO₂排出量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に再設定しています。
- 水使用量の目標は、令和3年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に再設定しています。
- 未利用森林資源の取扱量の増加は、令和元年度の実績を基準とし、毎年5%増加を目標に再設定しています。
- 化学物質は事業活動での使用実績がないため、目標から除外しています。

うきは工場

(年度:8月～翌年7月)

環境経営目標 項目	単位	基準年度実績 令和4年度	中期目標		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ / m ³	5.54	-	5.48	5.37
廃棄物排出量の削減	kg	299	-	290	272
水使用量の削減	m ³	82	-	81.2	79.5
グリーン購入促進	品目	15	-	15	15
教育の実施	回	2	-	2	2
未利用森林資源の取扱量の増加	t	14,339	-	15,056	16,490
清掃活動・除草活動の実施	回	14	-	14	14

備考

- 令和5年2月より営業開始のため、令和4年度(令和5年2～7月までの6ヶ月間)の実績から基準値を算出し、令和5年度から新たに目標設定しています。
- CO₂排出量の目標値は、年間処理量(生産量)で除した原単位(kg-CO₂/ m³)で示しています。
- CO₂排出量の算定に用いた購入電力のCO₂排出係数は、令和元年度 九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。
- 水使用量の目標は、令和4年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に設定しています。
- 未利用森林資源の取扱量の増加は、令和4年度の実績を基準とし、毎年5%増加を目標に設定しています。
- 化学物質は事業活動での使用実績がないため、目標から除外しています。

全サイトでの環境経営目標

(年度:8月～翌年7月)

環境経営目標 項目	単位	基準年度実績 令和2年度	中期目標		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	6.73	6.59 (2%削減)	6.53 (3%削減)	6.46 (4%削減)
(CO ₂ 排出量)	kg-CO ₂	2,696,221	—	—	—
未利用森林資源の取扱量の増加	トン	52,760	58,683 (10%増加)	61,350 (15%増加)	64,018 (20%増加)

備考

- CO₂排出量の目標値は、年間処理量(生産量)で除した原単位(kg-CO₂/m³)で示しています。
- CO₂排出量の算定に用いた購入電力のCO₂排出係数は、令和元年度 九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。
- 処理量当たりのCO₂排出量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年1%削減を目標に設定しています。
- 未利用森林資源の取扱量の目標は、令和2年度の実績を基準とし、毎年5%増加を目標に設定しています。

5. 環境経営目標の実績

- 事業活動における各サイト(工場)の環境経営目標達成状況は、以下の通りです。
- 処理量当たりのCO₂排出量は、大分工場、箱崎工場、GP本匠が目標を達成できませんでした。
- 水使用量は、箱崎工場、GP本匠、GP杵築、GP津奈木、うきは工場が目標を達成できませんでした。
- 廃棄物排出量の削減及び抑制、グリーン購入促進、教育の実施、清掃活動・除草活動の実施について全工場で目標を達成できました。
- 未利用森林資源の取扱量は、大分工場、GP本匠、GP津奈木が目標を達成できませんでした。
- 主な環境負荷量のこれまでの推移表を作成し添付します。

本社工場

環境経営目標 項目	単 位	基準年度実績 令和2年度	令和5年度(令和5年8月～令和6年7月)			評 価
			目 標	実 績	目標達成率	
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	9.91	9.61 (3%削減)	9.61	100%	○
	kg-CO ₂	932,486	-	683,785	(73%)	-
廃棄物排出量の削減	kg	531	483 (9%削減)	480	101%	○
グリーン購入促進	品目	15	15	15	100%	○
教育の実施	回数	2	2	2	100%	○
清掃活動・除草活動の実施	回数	14	14	14	100%	○

備考 ()内は基準年度実績に対する増減率を示す。

大分工場

環境経営目標 項目	単 位	基準年度実績 令和2年度	令和5年度(令和5年8月～令和6年7月)			評 価
			目 標	実 績	目標達成率	
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	6.67	6.47 (3%削減)	6.89	94%	×
	kg-CO ₂	312,536	-	298,061	(95%)	-
廃棄物排出量の削減	kg	165	150 (9%削減)	146	103%	○
水使用量の削減	m ³	1,756	1703 (3%削減)	828	206%	○
グリーン購入促進	品目	15	15	15	100%	○
教育の実施	回数	2	2	2	100%	○
未利用森林資源の取扱量の増加	t	4,800 (※令和3年度基準値)	5,280 (10%増加)	4,189	79%	×
清掃活動・除草活動の実施	回数	14	14	14	100%	○

備考 ()内は基準年度実績に対する増減率を示す。

目標達成率の計算方法	削減目標 : 目標÷実績×100	増加目標 : 実績÷目標×100
評価判定区分	○…目標達成率100%以上 △…目標達成率95%以上 ×…目標達成率95%未満	

佐賀工場

環境経営目標 項目	単 位	基準年度実績 令和2年度	令和5年度(令和5年8月～令和6年7月)			評 価
			目 標	実 績	目標達成率	
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	4.56	4.42 (3%削減)	4.23	104%	○
	kg-CO ₂	63,112	-	62,487	(99%)	-
廃棄物排出量の抑制	kg	45	45.0 (定量目標)	40.0	113%	○
水使用量の削減	m ³	103	100 (3%削減)	40	250%	○
グリーン購入促進	品目	15	15	15	100%	○
教育の実施	回数	2	2	2	100%	○
未利用森林資源の取扱量の増加	t	562	-	415	—	-
清掃活動・除草活動の実施	回数	14	14	14	100%	○

備考 ()内は基準年度実績に対する増減率を示す。

箱崎工場

環境経営目標 項目	単 位	基準年度実績 令和2年度	令和5年度(令和5年8月～令和6年7月)			評 価
			目 標	実 績	目標達成率	
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	5.53	5.36 (3%削減)	5.90	91%	×
	kg-CO ₂	539,853	-	469,381	(87%)	-
廃棄物排出量の削減	kg	523	476 (9%削減)	454	105%	○
水使用量の削減	m ³	5,429	5,266 (3%削減)	6,369	83%	×
グリーン購入促進	品目	15	15	15	100%	○
教育の実施	回数	2	2	2	100%	○
清掃活動・除草活動の実施	回数	14	14	14	100%	○

備考 ()内は基準年度実績に対する増減率を示す。

目標達成率の計算方法	削減目標 : 目標÷実績×100	増加目標 : 実績÷目標×100
評価判定区分	○…目標達成率100%以上 △…目標達成率95%以上 ×…目標達成率95%未満	

GP本匠

環境経営目標 項目	単 位	基準年度実績 令和2年度	令和5年度(令和5年8月～令和6年7月)			評 価
			目 標	実 績	目標達成率	
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	3.59	3.48 (3%削減)	4.14	84%	×
	kg-CO ₂	76,663	-	79,946	(104%)	-
廃棄物排出量の抑制	kg	16.5	16.5 (定量目標)	13.5	122%	○
水使用量の抑制	m ³	48.0 (※令和3年度基準値)	48.0 (定量目標)	54.0	89%	×
グリーン購入促進	品目	15	15	15	100%	○
教育の実施	回数	2	2	2	100%	○
未利用森林資源の取扱量の増加	t	10,988 (※平成30年度基準値)	13,186 (20%増加)	10,631	81%	×
清掃活動・除草活動の実施	回数	14	14	14	100%	○

備考 ()内は基準年度実績に対する増減率を示す。

GP杵築

環境経営目標 項目	単 位	基準年度実績 令和2年度	令和5年度(令和5年8月～令和6年7月)			評 価
			目 標	実 績	目標達成率	
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	6.73	6.53 (3%削減)	5.55	118%	○
	kg-CO ₂	651,248	-	678,133	(104%)	-
廃棄物排出量の削減	kg	87	79.2 (9%削減)	72.8	109%	○
水使用量の削減	m ³	1,370 (※令和4年度基準値)	1356 (1%削減)	1,714	79%	×
グリーン購入促進	品目	15	15	15	100%	○
教育の実施	回数	2	2	2	100%	○
未利用森林資源の取扱量の増加	t	15,993 (※令和元年度基準値)	19,192 (20%増加)	42,519	222%	○
清掃活動・除草活動の実施	回数	14	14	14	100%	○

備考 ()内は基準年度実績に対する増減率を示す。

目標達成率の計算方法	削減目標 : 目標÷実績×100	増加目標 : 実績÷目標×100
評価判定区分	○・・・目標達成率100%以上 △・・・目標達成率95%以上 ×・・・目標達成率95%未満	

GP津奈木

環境経営目標 項目	単 位	基準年度実績 令和2年度	令和5年度(令和5年8月～令和6年7月)			評 価
			目 標	実 績	目標達成率	
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	3.98	3.86 (3%削減)	3.68	105%	○
	kg-CO ₂	120,307	-	126,836	(105%)	-
廃棄物排出量の抑制	kg	29.2 (※令和元年度基準値)	29.2 (定量目標)	26.2	111%	○
水使用量の抑制	m ³	221 (※令和3年度基準値)	217 (2%削減)	284	76%	×
グリーン購入促進	品目	15	15	15	100%	○
教育の実施	回数	2	2	2	100%	○
未利用森林資源の取扱量の増加	t	13,245 (※令和元年度基準値)	15,894 (20%増加)	14,999	94%	×
清掃活動・除草活動の実施	回数	14	14	14	100%	○

備考 ()内は基準年度実績に対する増減率を示す。

うきは工場

環境経営目標 項目	単 位	基準年度実績 令和4年度	令和5年度(令和5年8月～令和6年7月)			評 価
			目 標	実 績	目標達成率	
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	5.54	5.48 (1%削減)	4.90	112%	○
	kg-CO ₂	379,248	-	390,718	(103%)	-
廃棄物排出量の削減	kg	299	290 (3%削減)	288.0	101%	○
水使用量の削減	m ³	82	81.2 (1%削減)	91	89%	×
グリーン購入促進	品目	15	15	15	100%	○
教育の実施	回数	2	2	2	100%	○
未利用森林資源の取扱量の増加	t	14,339	15,056 (5%増加)	16,277	108%	○
清掃活動・除草活動の実施	回数	14	14	14	100%	○

備考 ()内は基準年度実績に対する増減率を示す。

※当サイトは令和5年2月より営業開始のため、令和4年度(令和5年2～7月までの6ヶ月間)の実績から基準値を算出し、令和5年度から新たに目標設定しています。

目標達成率の計算方法	削減目標 : 目標÷実績×100	増加目標 : 実績÷目標×100
評価判定区分	○・・・目標達成率100%以上 △・・・目標達成率95%以上 ×・・・目標達成率95%未満	

全サイトの環境経営目標の実績

環境経営目標 項目	単 位	基準年度実績 令和2年度	令和5年度(令和5年8月～令和6年7月)			評 価
			目 標	実 績	目標達成率	
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /m ³	6.73	6.53 (3%削減)	6.01	109%	○
	kg-CO ₂	2,696,221	-	2,789,347	(103%)	-
未利用森林資源の取扱量の増加	t	52,760	61,350 (15%増加)	89,083	145%	○

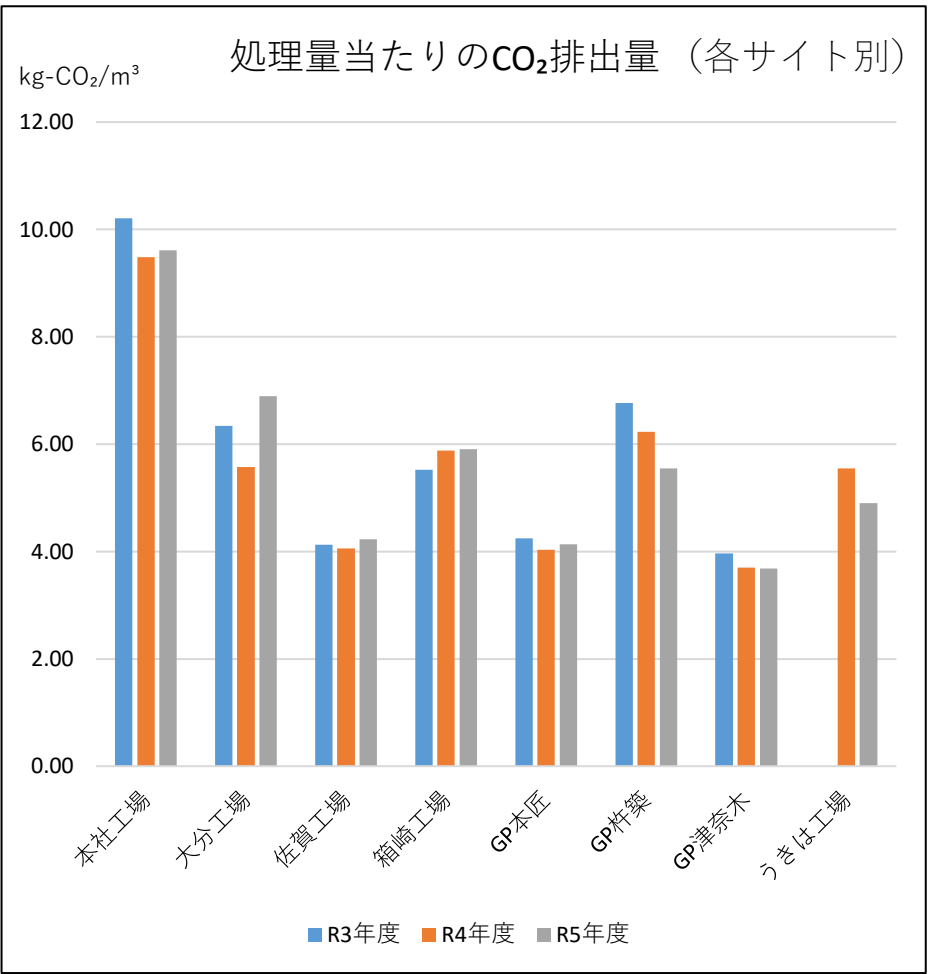
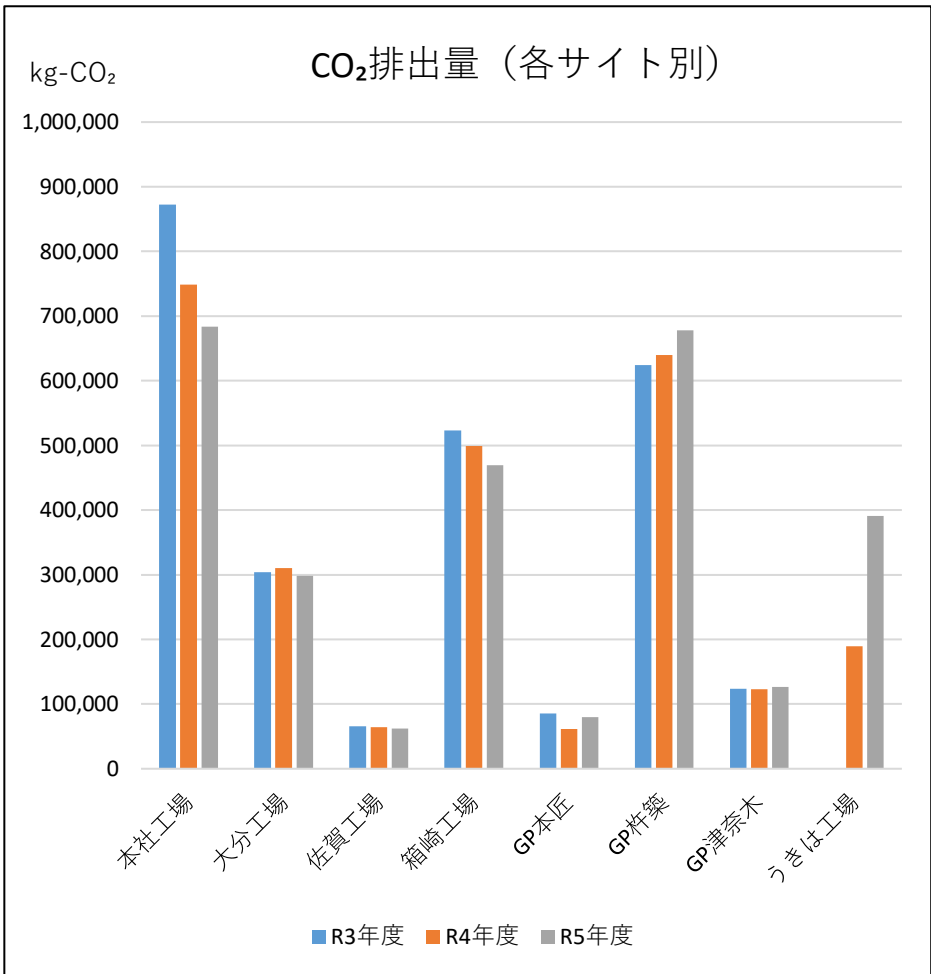
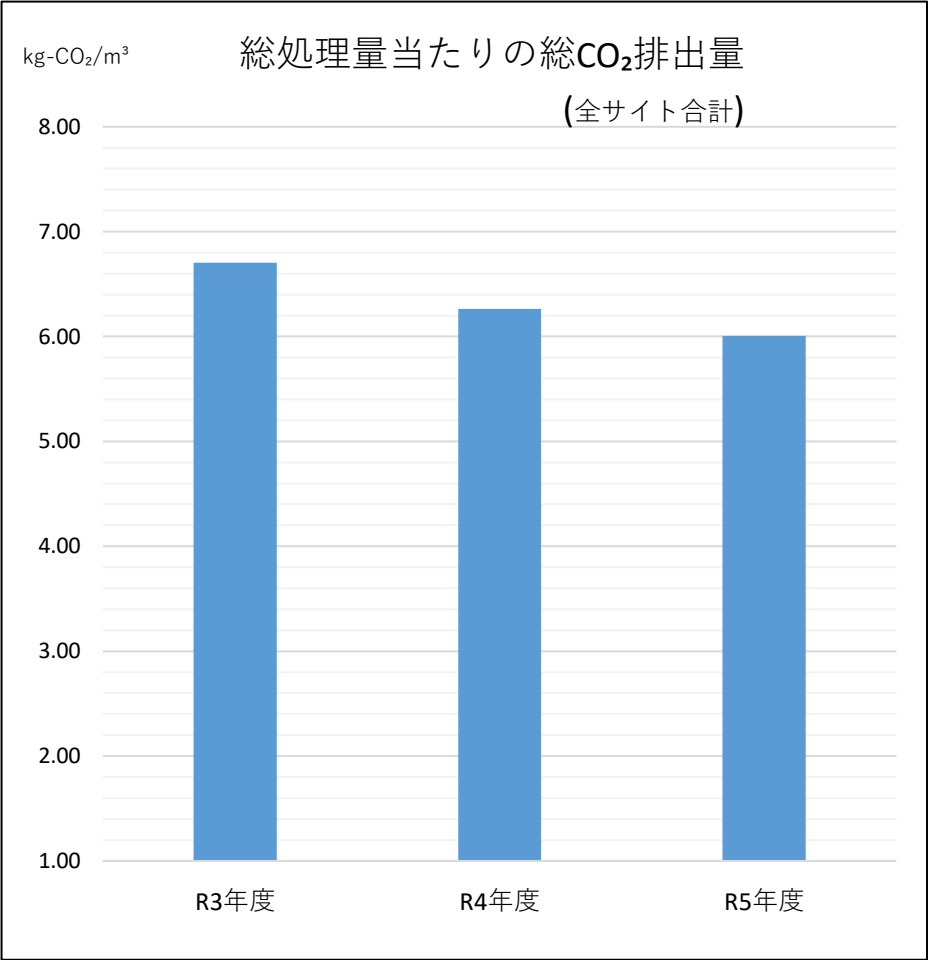
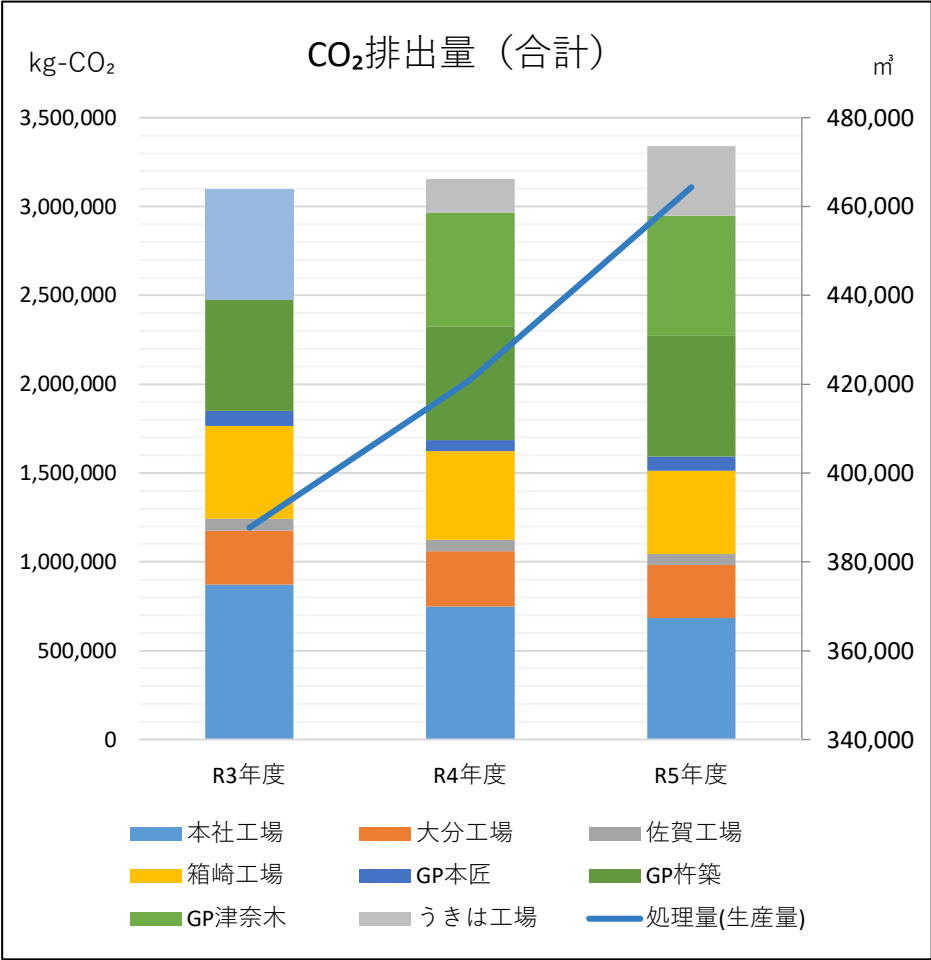
備考 ()内は基準年度実績に対する増減率を示す。

目標達成率の計算方法	削減目標	:	目標÷実績×100	増加目標	:	実績÷目標×100
評価判定区分	○・・・目標達成率100%以上 △・・・目標達成率95%以上 ×・・・目標達成率95%未満					

6. 過去3年間の主要環境負荷量の推移

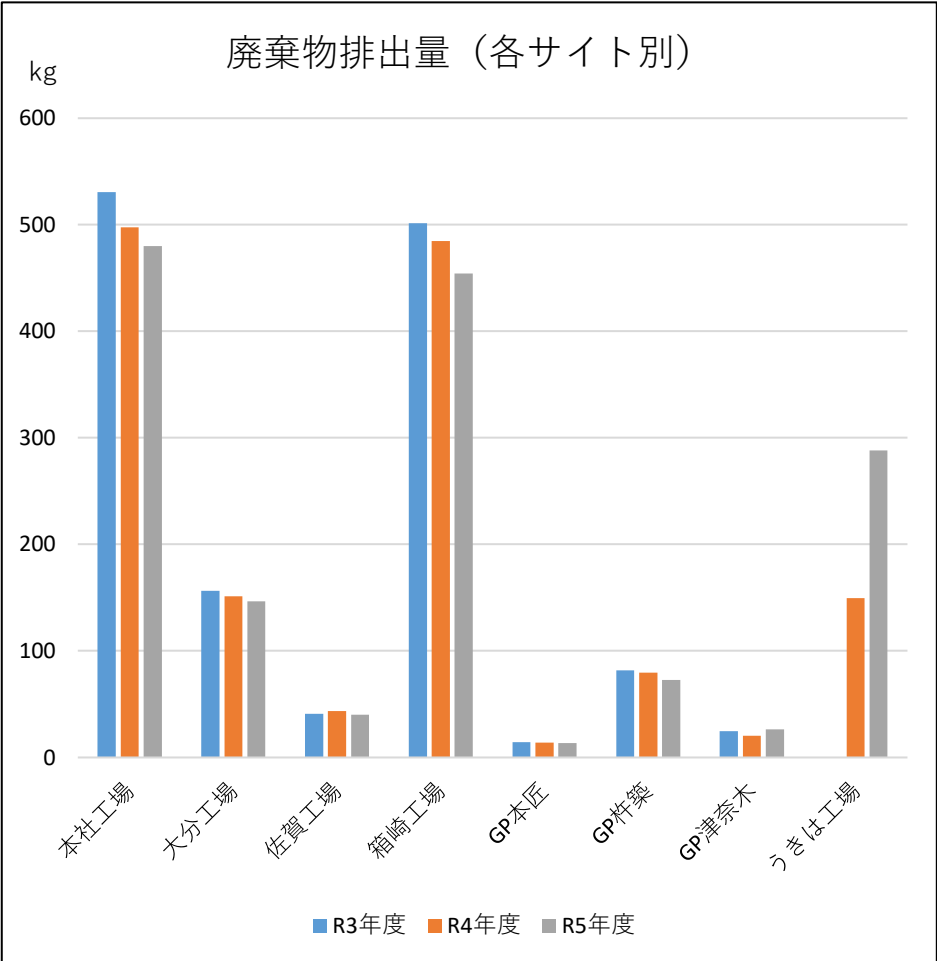
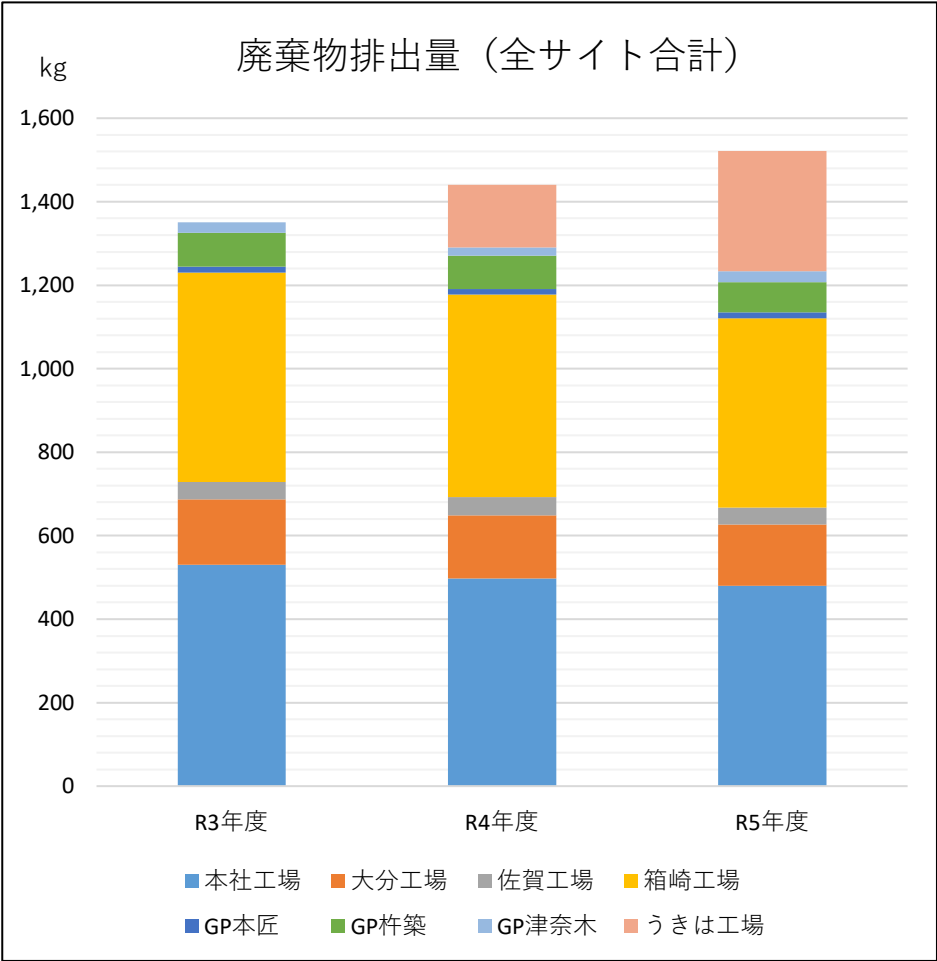
① CO₂排出量

- ・ 過去3年間(当社事業年度)におけるCO₂排出量の推移表は以下の通りです。
- ・ 令和4年度より新たに「うきは工場」が追加し、全サイト合計のCO₂排出量は増加していますが、総処理量当たりの総CO₂排出量は減少させることができています。



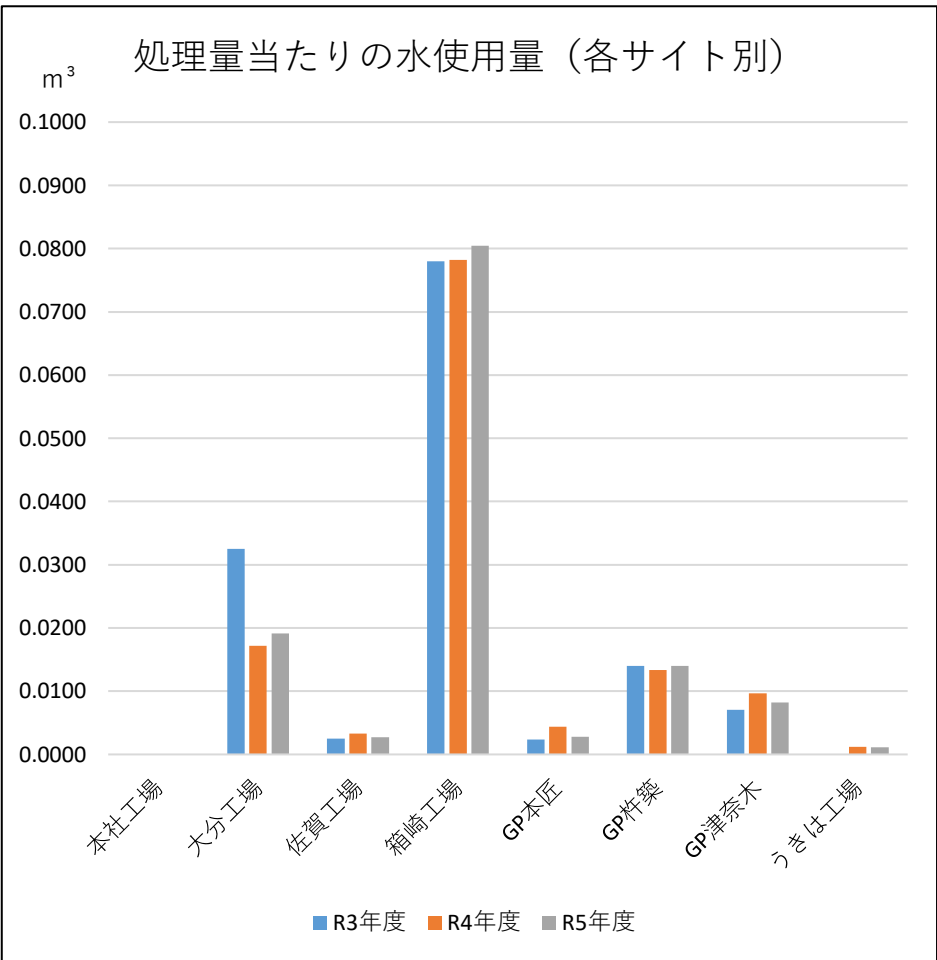
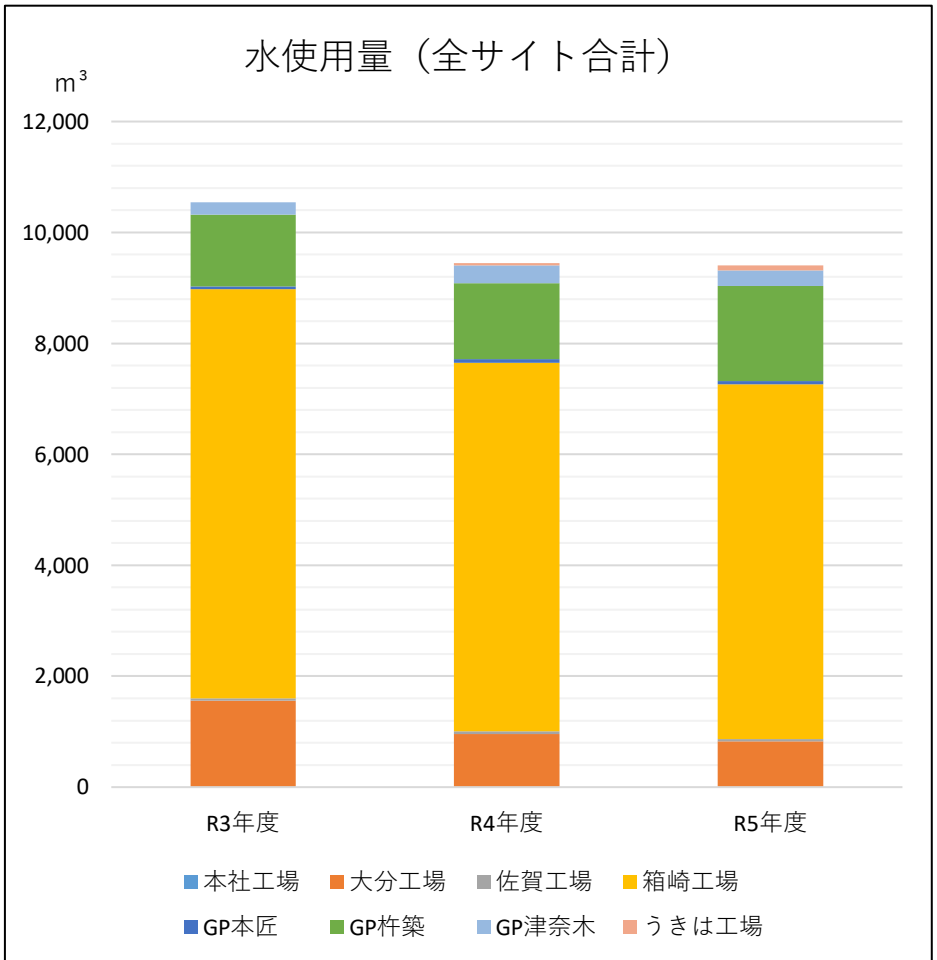
② 廃棄物排出量

- ・ 過去3年間(当社事業年度)における廃棄物排出量の推移表は以下の通りです。
- ・ 令和4年度より新たに「うきは工場」が追加し、全サイト合計の廃棄物排出量は増加していますが、各サイトでの廃棄物排出量は抑制できています。



③ 水使用量

- ・ 過去3年間(当社事業年度)における水使用量の推移表は以下の通りです。
- ・ 全サイト合計の水使用量は抑制できています。
- ・ 本社工場の水使用量は全て雨水及び地下水利用により計量不明なため、グラフの表示がございません。



7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容の結果と評価

- 令和5年度の環境経営計画の取組結果とその評価は以下に示す通りです。
- 各工場の環境への取組は全サイトで取り組めています。

本社工場

環境経営目標	取組目標	活動計画	評価	内容と次年度の取組み
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減	室温度(冷房28℃、暖房20℃)の調整	○	実施できている。 新ドライブレコーダーの運転評価機能を活用し、安全運転・エコドライブを継続していく。
		使用しない部屋(場所)の消灯	○	
		クールビズ・ウォームビズの実施	○	
		生産中のちょこ停の削減(連続運転による機械性能維持)	○	
		LED照明器具導入の検討	○	
	ガソリン及び軽油使用量の削減	エコドライブの手順を決め、実行する(現場重機)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(収集運搬車)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(営業車)	○	
		ドライブレコーダーにより運転管理(収集運搬車・営業車)	○	
		新ドライブレコーダー(運転評価機能付)の運行管理	○	
		ハイブリッド重機導入の検討	○	
廃棄物排出量の削減	紙ゴミ(単純焼却)排出量の削減	裏紙使用の推進	○	実施できている。継続実施する。
		両面印刷の推進	○	
		封筒の再利用	○	
		ペーパーレス(電子化)の推進	○	
	ゴミ分別の実施	可燃・不燃・プラスチック・缶・ペットボトルのゴミの分別の実施	○	
教育・訓練の実施	教育の実施	エコアクション21取組説明会	○	実施できている。継続実施する。
		関連法規の研修	○	
	訓練の実施	火災を想定した訓練	○	
グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	グリーン購入対象商品の研究	○	実施できている。継続実施する。
		グリーン購入対象商品のリストアップ	○	
清掃活動・除草活動の実施	清掃活動・除草活動の実施	工場周辺の清掃(月1回)	○	実施できている。継続実施する。
		工場周辺の除草(年2回)	○	

大分工場

環境経営目標	取組目標	活動計画	評価	内容と次年度の取組み
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減	室温度(冷房28℃、暖房20℃)の調整	○	実施できている。 新ドライブレコーダーの運転評価機能を活用し、安全運転・エコドライブを継続していく。
		使用しない部屋(場所)の消灯	○	
		クールビズ・ウォームビズの実施	○	
		生産中のちょこ停の削減(連続運転による機械性能維持)	○	
		LED照明器具導入の検討	○	
	ガソリン及び軽油使用量の削減	エコドライブの手順を決め、実行する(現場重機)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(収集運搬車)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(営業車)	○	
		ドライブレコーダーにより運転管理(収集運搬車・営業車)	○	
		新ドライブレコーダー(運転評価機能付)の運行管理	○	
		ハイブリッド重機導入の検討	○	
廃棄物排出量の削減	紙ゴミ(単純焼却)排出量の削減	裏紙使用の推進	○	実施できている。継続実施する。
		両面印刷の推進	○	
		封筒の再利用	○	
		ペーパーレス(電子化)の推進	○	
	ゴミ分別の実施	可燃・不燃・プラスチック・缶・ペットボトルのゴミの分別の実施	○	
水使用量の削減	雨水の回収	水使用時の節水の励行	○	実施できている。継続実施する。
		蛇口の締め忘れを確認する	○	
教育・訓練の実施	教育の実施	エコアクション21取組説明会	○	実施できている。継続実施する。
		関連法規の研修	○	
	訓練の実施	火災を想定した訓練	○	
グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	グリーン購入対象商品の研究	○	実施できている。継続実施する。
		グリーン購入対象商品のリストアップ	○	
清掃活動・除草活動の実施	清掃活動・除草活動の実施	工場周辺の清掃(月1回)	○	実施できている。継続実施する。
		工場周辺の除草(年2回)	○	

評価判定区分 ○ … よく取り組んでいる

× … 取り組めていない

△ … 取り組みが不十分

－ … 該当なし

佐賀工場

環境経営目標	取組目標	活動計画	評価	内容と次年度の取組み
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減	室温度(冷房28℃、暖房20℃)の調整	○	実施できている。継続実施する。
		使用しない部屋(場所)の消灯	○	
		クールビズ・ウォームビズの実施	○	
		生産中のちょこ停の削減(連続運転による機械性能維持)	○	
		LED照明器具導入の検討	○	
	ガソリン及び軽油使用量の削減	エコドライブの手順を決め、実行する(現場重機)	○	
		ハイブリッド重機導入の検討	○	
廃棄物排出量の抑制	紙ゴミ(単純焼却)排出量の抑制	裏紙使用の推進	○	実施できている。継続実施する。
		両面印刷の推進	○	
		封筒の再利用	○	
		ペーパーレス(電子化)の推進	○	
	ゴミ分別の実施	可燃・不燃・プラスチック・缶・ペットボトルのゴミの分別の実施	○	
水使用量の削減	雨水の回収	水使用時の節水の励行	○	実施できているが、目標を達成できなかった。水漏れがあったため経過を注意して観察する。
		蛇口の締め忘れを確認する	○	
教育・訓練の実施	教育の実施	エコアクション21取組説明会	○	実施できている。継続実施する。
		関連法規の研修	○	
	訓練の実施	火災を想定した訓練	○	
グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	グリーン購入対象商品の研究	○	実施できている。継続実施する。
		グリーン購入対象商品のリストアップ	○	
清掃活動・除草活動の実施	清掃活動・除草活動の実施	工場周辺の清掃(月1回)	○	実施できている。継続実施する。
		工場周辺の除草(年2回)	○	

箱崎工場

環境経営目標	取組目標	活動計画	評価	内容と次年度の取組み
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減	室温度(冷房28℃、暖房20℃)の調整	○	実施できている。新ドライブレコーダーの運転評価機能を活用し、安全運転・エコドライブを継続していく。
		使用しない部屋(場所)の消灯	○	
		クールビズ・ウォームビズの実施	○	
		生産中のちょこ停の削減(連続運転による機械性能維持)	○	
		LED照明器具導入の検討	○	
	ガソリン及び軽油使用量の削減	エコドライブの手順を決め、実行する(現場重機)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(収集運搬車)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(営業車)	○	
		ドライブレコーダーにより運転管理(収集運搬車・営業車)	○	
		新ドライブレコーダー(運転評価機能付)の運行管理	○	
廃棄物排出量の削減	紙ゴミ(単純焼却)排出量の削減	裏紙使用の推進	○	実施できている。継続実施する。
		両面印刷の推進	○	
		封筒の再利用	○	
		ペーパーレス(電子化)の推進	○	
	ゴミ分別の実施	可燃・不燃・プラスチック・缶・ペットボトルのゴミの分別の実施	○	
水使用量の削減	雨水の回収	水使用時の節水の励行	○	実施できている。継続実施する。
		蛇口の締め忘れを確認する	○	
教育・訓練の実施	教育の実施	エコアクション21取組説明会	○	実施できている。継続実施する。
		関連法規の研修	○	
	訓練の実施	火災を想定した訓練	○	
グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	グリーン購入対象商品の研究	○	実施できている。継続実施する。
		グリーン購入対象商品のリストアップ	○	
清掃活動・除草活動の実施	清掃活動・除草活動の実施	工場周辺の清掃(月1回)	○	実施できている。継続実施する。
		工場周辺の除草(年2回)	○	

評価判定区分

○ … よく取り組んでいる

△ … 取り組みが不十分

×

… 取り組めていない

– … 該当なし

GP本匠

環境経営目標	取組目標	活動計画	評価	内容と次年度の取組み
処理量当たりの CO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減	室温度(冷房28℃、暖房20℃)の調整	○	実施できている。継続実施する。
		使用しない部屋(場所)の消灯	○	
		クールビズ・ウォームビズの実施	○	
		生産中のちょこ停の削減(連続運転による機械性能維持)	○	
		LED照明器具導入の検討	○	
	ガソリン及び軽油使用量の削減	エコドライブの手順を決め、実行する(現場重機)	○	
		ハイブリッド重機導入の検討	○	
廃棄物排出量の抑制	紙ゴミ(単純焼却)排出量の抑制	裏紙使用の推進	○	実施できている。継続実施する。
		両面印刷の推進	○	
		ペーパーレス(電子化)の推進	○	
	ゴミ分別の実施	可燃・不燃・プラスチック・缶・ペットボトルのゴミの分別の実施	○	
水使用量の抑制	雨水の回収	水使用時の節水の励行	○	実施できているが、目標を達成できなかった。サービス向上のため散水作業が増加している。注意し観察する。
		蛇口の締め忘れを確認する	○	
教育・訓練の実施	教育の実施	エコアクション21取組説明会	○	実施できている。継続実施する。
		関連法規の研修	○	
	訓練の実施	火災を想定した訓練	○	
グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	グリーン購入対象商品の研究	○	実施できている。継続実施する。
		グリーン購入対象商品のリストアップ	○	
未利用森林資源の取扱量の増加	未利用森林資源の取扱量の増加	森林組合・素材生産業者への営業	○	
清掃活動・除草活動の実施	清掃活動・除草活動の実施	工場周辺の清掃(月1回)	○	実施できている。継続実施する。
		工場周辺の除草(年2回)	○	

GP杵築

環境経営目標	取組目標	活動計画	評価	内容と次年度の取組み
処理量当たりの CO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減	室温度(冷房28℃、暖房20℃)の調整	○	実施できている。 新ドライブレコーダーの運転評価機能を活用し、安全運転・エコドライブを継続していく。
		使用しない部屋(場所)の消灯	○	
		クールビズ・ウォームビズの実施	○	
		生産中のちょこ停の削減(連続運転による機械性能維持)	○	
		LED照明器具導入の検討	○	
	ガソリン及び軽油使用量の削減	エコドライブの手順を決め、実行する(現場重機)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(収集運搬車)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(営業車)	○	
		ドライブレコーダーにより運転管理(収集運搬車・営業車)	○	
		新ドライブレコーダー(運転評価機能付)の運行管理	○	
廃棄物排出量の削減	紙ゴミ(単純焼却)排出量の削減	裏紙使用の推進	○	実施できている。継続実施する。
		両面印刷の推進	○	
		封筒の再利用	○	
		ペーパーレス(電子化)の推進	○	
	ゴミ分別の実施	可燃・不燃・プラスチック・缶・ペットボトルのゴミの分別の実施	○	
水使用量の削減	雨水の回収	水使用時の節水の励行	○	処理量増加に伴い、散水による水使用量が増加している。経過観察する。
		蛇口の締め忘れを確認する	○	
教育・訓練の実施	教育の実施	エコアクション21取組説明会	○	実施できている。継続実施する。
		関連法規の研修	○	
	訓練の実施	火災を想定した訓練	○	
グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	グリーン購入対象商品の研究	○	実施できている。継続実施する。
		グリーン購入対象商品のリストアップ	○	
未利用森林資源の取扱量の増加	未利用森林資源の取扱量の増加	森林組合・素材生産業者への営業	○	実施できている。継続実施する。
清掃活動・除草活動の実施	清掃活動・除草活動の実施	工場周辺の清掃(月1回)	○	実施できている。継続実施する。
		工場周辺の除草(年2回)	○	

評価判定区分 ○ … よく取り組んでいる

△ … 取り組みが不十分

× … 取り組めていない

－ … 該当なし

GP津奈木

環境経営目標	取組目標	活動計画	評価	内容と次年度の取組み
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減	室温度(冷房28℃、暖房20℃)の調整	○	実施できているが、新ドライブレコーダーの運転評価機能を活用し、安全運転・エコドライブを継続していく。
		使用しない部屋(場所)の消灯	○	
		クールビズ・ウォームビズの実施	○	
		生産中のちょこ停の削減(連続運転による機械性能維持)	○	
		LED照明器具導入の検討	○	
	ガソリン及び軽油使用量の削減	エコドライブの手順を決め、実行する(現場重機)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(営業車)	○	
		新ドライブレコーダー(運転評価機能付)の運行管理	○	
		ハイブリッド重機導入の検討	○	
廃棄物排出量の抑制	紙ゴミ(単純焼却)排出量の抑制	裏紙使用の推進	○	実施できている。継続実施する。
		両面印刷の推進	○	
		ペーパーレス(電子化)の推進	○	
	ゴミ分別の実施	可燃・不燃・プラスチック・缶・ペットボトルのゴミの分別の実施	○	
水使用量の抑制	雨水の回収	水使用時の節水の励行	○	ヤード拡張や散水による水使用量が増加している。注意し観察する。
		蛇口の締め忘れを確認する	○	
教育・訓練の実施	教育の実施	エコアクション21取組説明会	○	実施できている。継続実施する。
		関連法規の研修	○	
	訓練の実施	火災を想定した訓練	○	
グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	グリーン購入対象商品の研究	○	実施できている。継続実施する。
		グリーン購入対象商品のリストアップ	○	
未利用森林資源の取扱量の増加	未利用森林資源の取扱量の増加	森林組合・素材生産業者への営業	○	実施できている。継続実施する。
清掃活動・除草活動の実施	清掃活動・除草活動の実施	工場周辺の清掃(月1回)	○	実施できている。継続実施する。
		工場周辺の除草(年2回)	○	

うきは工場

環境経営目標	取組目標	活動計画	評価	内容と次年度の取組み
処理量当たりのCO ₂ 排出量の削減	電気使用量の削減	室温度(冷房28℃、暖房20℃)の調整	○	実施できている。新ドライブレコーダーの運転評価機能を活用し、安全運転・エコドライブを継続していく。
		使用しない部屋(場所)の消灯	○	
		クールビズ・ウォームビズの実施	○	
		生産中のちょこ停の削減(連続運転による機械性能維持)	○	
		太陽光発電量の記録・管理	○	
	ガソリン及び軽油使用量の削減	エコドライブの手順を決め、実行する(現場重機)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(収集運搬車)	○	
		エコドライブの手順を決め、実行する(営業車)	○	
		ドライブレコーダーにより運転管理(収集運搬車・営業車)	○	
		新ドライブレコーダー(運転評価機能付)の運行管理	○	
		ハイブリッド重機導入の検討	○	
廃棄物排出量の削減	紙ゴミ(単純焼却)排出量の削減	裏紙使用の推進	○	実施できている。継続実施する。
		両面印刷の推進	○	
		封筒の再利用	○	
		ペーパーレス(電子化)の推進	○	
	ゴミ分別の実施	可燃・不燃・プラスチック・缶・ペットボトルのゴミの分別の実施	○	
水使用量の削減	雨水の回収	水使用時の節水の励行	○	処理量増加に伴い、散水による水使用量が増加している。経過観察する。
		蛇口の締め忘れを確認する	○	
教育・訓練の実施	教育の実施	エコアクション21取組説明会	○	実施できている。継続実施する。
		関連法規の研修	○	
	訓練の実施	火災を想定した訓練	○	
グリーン購入の促進	グリーン購入の促進	グリーン購入対象商品の研究	○	実施できている。継続実施する。
		グリーン購入対象商品のリストアップ	○	
未利用森林資源の取扱量の増加	未利用森林資源の取扱量の増加	森林組合・素材生産業者への営業	○	実施できている。継続実施する。
清掃活動・除草活動の実施	清掃活動・除草活動の実施	工場周辺の清掃(月1回)	○	実施できている。継続実施する。
		工場周辺の除草(年2回)	○	

評価判定区分 ○ … よく取り組んでいる
 × … 取り組めていない

△ … 取り組みが不十分
－ … 該当なし

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

- ・ 次年度のうきは工場の環境経営目標は、令和5年度の実績を基準値として再設定します。
- ・ 次年度の環境経営計画は、前項での評価を踏まえて、同様の活動計画内容で継続して取り組みます。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

- ・主な環境関連法規等の遵守状況の評価の結果は以下の通りであり、令和6年9月30日現在において環境関連法規等の違反、訴訟などありませんでした。
- ・また、過去3年間、関係機関からの違反等の指摘もありませんでした。

環境法規名	主な遵守事項	遵守結果
廃棄物処理法	保管基準の遵守	実施されている。
	処理施設の維持管理	実施されている。
騒音規制法	特定施設の届出及び変更届出	実施されている。
振動規制法	特定施設の届出及び変更届出	実施されている。
消防法	指定可燃物の届出	実施されている。
	消防用設備等の点検	実施されている。
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	実施されている。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

・エコアクション21を取り組み始めて、12事業年度が経過しました。令和5年2月に新工場「うきは工場」が稼働し、今期より8サイトで環境活動を実施しています。サイトが増えたことにより、全体の処理量・生産量は増加できましたが、それと同時に環境負荷も増大しました。前々年度から、サイト全体の処理量当たりのCO₂排出量の削減を目標設定しており、前年度に引き続き、今年度も目標達成することができています。

・処理量当たりのCO₂排出量の削減について、大分工場、箱崎工場、GP本匠が目標達成できませんでした。いずれも処理量(生産量)を増加できなかったことが要因です。木材需要の低下、家屋解体現場・開発現場の減少などにより、木くずの発生は縮小傾向にあります。大分工場と箱崎工場はその影響を大きく受け、処理量が減少してしまいました。GP本匠は、未利用森林資源の買取価格を上げて仕入強化を行い、前年度より生産量を増加できましたが、目標数値まで届きませんでした。

・廃棄物排出量の削減又は抑制、グリーン購入促進、教育の実施、清掃活動・除草活動の実施について、全サイトにて目標を達成することができました。これらの環境活動は毎年実行できており、継続していきます。

・水使用量の削減について、箱崎工場、GP本匠、GP杵築、GP津奈木、うきは工場が目標達成できませんでした。要因としては、主に、処理量及び生産量の増加に伴って散水作業が増えたことと、周辺環境への配慮のため散水作業が増えたことが挙げられます。箱崎工場は、近隣企業の工場排水の有効利用を定期的に行い、水使用量削減に努めていますが、現状の社内体制では回数に限りがあり、目標達成に届きませんでした。

・未利用森林資源の取扱量の増加について、大分工場、GP本匠、GP津奈木が目標達成できませんでした。未利用森林資源の市場は競合を増しており、買取価格を上げることで取扱量の増加を図りました。GP杵築、うきは工場は著しい増加を実現でき目標を達成しましたが、大分工場、GP本匠、GP津奈木は目標値まで届きませんでした。サイト全体の取扱量は大幅に増加できています。未利用森林資源の有効活用は脱炭素社会の構築に直結する分野です。今後も当事業に注力し、各サイトで目標達成を目指します。

11. その他環境への取組

○ 環境配慮型工場の建設 「うきは工場」(令和5年2月完成・操業開始)

○ 環境配慮型工場

木材の保管・チップ製造・チップの保管積込、全ての作業を屋内で完結することで、周辺環境へ配慮した工場となっています。

○ 工場概要

〒839-1343
福岡県うきは市吉井町鷹取1093-12
(久留米・うきは工業団地内)

LICENSE 産業廃棄物 福岡県 04000024573 長崎県 04200024573
収集運搬業 大分県 04402024573 熊本県 04305024573
佐賀県 04103024573 山口県 03500024573

産業廃棄物 福岡県 04000024573
処分業

一般廃棄物 再生利用業 うきは市 木質バイオマス事業者 05全ホリ九001



太陽光発電

工場棟の屋根に330kwの太陽光パネルを設置、晴天時には工場の電力の大部分をまかいます。

車両の通行

十分な車両の待機場所及び動線を確認し、周辺道路への影響を抑制されています。

騒音・振動

工場棟の外壁に4mのコンクリート擁壁を設置し、騒音・振動を抑えています。

ほこり

チップ製造時に発生するほこりは、大型の集じん機に集められ空気を浄化します。

○ 実績

太陽光発電の効果

	単位	R5年8月	R5年9月	R5年10月	R5年11月	R5年12月	R6年1月	R6年2月	R6年3月	R6年4月	R6年5月	R6年6月	R6年7月	合計
発電量(自家消費)	kWh	31,535	28,565	28,353	21,216	15,679	17,919	18,567	26,462	24,989	30,392	27,569	32,203	303,449
CO ₂ 排出削減量	kg-CO ₂	11,699	10,598	10,519	7,871	5,817	6,648	6,888	9,817	9,271	11,275	10,228	11,947	112,580

※「CO₂排出削減量」の算定に用いたCO₂排出係数は、令和元年度九州電力の調整後排出係数0.371kg-CO₂/kWhを使用しています。